

みずほCustomer Desk Report 2017/06/12 号(As of 2017/06/09)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.09 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.87	1.1191	123.02	0.9689	1.2727	0.7528
SYD-NY High	110.81	1.1215	123.85	0.9727	1.2828	0.7544
SYD-NY Low	109.82	1.1167	122.82	0.9677	1.2636	0.7519
NY 5:00 PM	110.33	1.1194	123.49	0.9691	1.2744	0.7530
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.54/7.89		△25RR	1.068	Yen Call Over	

NY DOW	21,271.97	89.44	債券市場	日本2年債	-0.1040	▲0.3bp
NASDAQ	6,207.92	▲113.85		日本10年債	0.0560	▲1.3bp
S&P	2,431.77	▲2.02		米国2年債	1.3347	2.0bp
日経平均	20,013.26	104.00		米国5年債	1.7664	1.8bp
TOPIX	1,591.66	1.25		米国10年債	2.2005	1.2bp
シカゴ日経先物	19,960.00	▲95.00	為替市況	独10年債	0.2640	0.8bp
ロンドンFT	7,527.33	77.35		英10年債	1.0050	▲2.8bp
DAX	12,815.72	102.14		豪10年債	2.4010	▲0.4bp
ハンセン指数	26,030.29	▲32.77		USD/CNH	6.7869	0.0043
上海総合	3,158.40	8.07		ドルインデックス	97.27	0.36
USDJPY 3M Vol	8.10	▲0.31%	商品市況	CRB指数	176.765	0.67
USDJPY 6M Vol	8.86	▲0.24%		NY金	1,271.40	▲8.10
EURJPY 3M Vol	8.62	▲0.18%		WTI	45.83	0.19
EURJPY 6M Vol	9.53	▲0.28%		Dubai Spot	45.99	▲1.06

東京	シドニー時間に英下院選挙の出口調査が発表され、保守党が従来より議席数を減らし過半数割れするとのヘッドラインにドル円は一時109.73まで下落するも、その後は方向感なくもみ合いとなり、東京時間のドル円は109.87レベルでオープン。その後、日経平均株価が小幅高で寄り付いた後、本邦企業の買収報道を受け2万円を突破して上昇する流れとなる中、ドル円もじりじりと上げ幅を拡大し、110.36まで値を上げた。午後に入り、英下院選挙の結果が徐々に判明するも出口調査とほぼ変わらない内容であったため特段材料視されず、110円台前半で方向感ない展開となり、110.23レベルで海外市場へ渡った。英ポンドは英下院選挙の出口調査結果が発表されたタイミングで1.6%程度急落。英下院選挙実施を決定した4月18日以来となる1.27台半ばまで下落したものの、その後は出口調査通りの選挙結果が明らかになるにつれ、徐々に方向感を失い、結局1.2701レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.23レベルでオープン。前日、米金融規制の緩和法案が下院を通過したことを欧州金融株等が好感、ドル円も小幅に上昇し、110.44レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2701レベルでオープン。総選挙で過半数割れとなったことで、ロンドン時間10時からメイ英首相が会見を実施するとのヘッドラインが流れ、首相辞任の憶測が浮上しポンドが軟調に推移する。しかし、思惑は直ぐに否定され、英首相からは、保守党と北アイルランドDUPの連立政権を樹立し、首相を続投する意向が示されると買い戻される流れとなり、1.2744レベルでNYに渡った。(ロンドントルーパー00531 444 179 山本)
ニューヨーク	海外時間は対ユーロポンドでドル買いが強まったことや、英総選挙が終了し過度なリスクオフが後退したことからドル円は110円台前半で堅調推移し、110.44レベルでオープン。朝方は米金利上昇を受けて海外時間高値の110.47を上抜け本日高値となる110.81まで上昇。しかし110円台後半ではドル売り意欲も強く、堅調に推移していたS&P500種がIT関連銘柄の下落を中心にマイナスイ圏へと転じたことからドル円は110.33まで反落した。その後も米金利が低下したことや、ムニーン財務長官の「通貨安誘導を監視するのは重要」との発言もあり、ドル円は110.13まで下落。しかし週末を目前に積極的に下値を追う展開とはならず、110.33レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1180レベルでNYオープン。朝方上昇した米金利が反落するとドル売りが強まり、ユーロドルは1.1204まで上昇。しかし前日のハ派なドラッグECB総裁の会見を受けて上値重い推移となり、1.1191まで下落し1.1194レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山下・岡本

【昨日の指標等】

Date	Time	中	Event	結果	予想
6月9日	10:30	中	CPI/PPPI(前年比)	5月 1.5%/5.5%	1.5%/5.6%
	15:00	独	貿易収支/経常収支	4月 €18.1B/€15.1B	€23.0B/€24.5B
	17:30	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	4月 0.2%/-0.8%	0.7%/-0.3%
	17:30	英	貿易収支	4月 -£2,050M	-£3,500M
	23:00	米	卸売在庫(前月比)・確報	4月 -0.5%	-0.3%

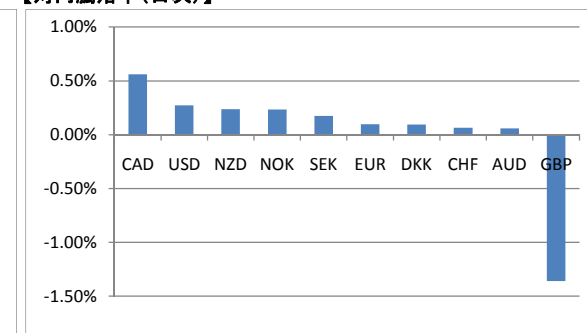
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月12日	8:50	日	機械受注(前月比/前年比)	4月 0.5%/7.3%
				1.4%/-0.7%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.00-110.50	1.1100-1.1300	122.00-124.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円は上昇する展開。東京時間に「日銀が出口戦略について時期尚早としていた姿勢を改め、市場との対話を重視する方向に修正しつつある」との報道がなされたことをきっかけに109円台半ばまで下落していたが、その後は米金利の上昇に連れて110円台を回復した。コミー前FBI議長の議会証言では司法妨害が懸念されるような新規材料は特段なく、市場の反応は限定的となった。本日のドル円相場は上値の重い推移を予想。出口調査の結果によると、メイ首相率いる保守党は過半数を獲得できない見込みと報じられている。最終的に結果が判明するまではポジションを傾けづらいと考えられるが、世論調査通りとなれば英国政治不透明感の高まりからリスクセンチメントが悪化することが想定される。関連ヘッドラインを受けての慌しい動きを警戒しておきたい。